

教育

◆部活動の合同練習始まる！

部活動は、勉強とスポーツの両立、心と体を鍛えることを目的に行っています。

しかし、生徒数の減少で、1つの学校だけでは大会に出られない部活動が出てきています。

そこで教育委員会は、平成28年度に「これからの部活動のあり方検討委員会」を立ち上げ、6月には保護者・教職員へアンケートを実施。保護者からは「合同練習をすることは賛成。送迎はスクールバスの利用を」との意見が多くありました。

これを受けて検討委員会でもスクールバスを活用した合同練習が提案され、サッカー部が12月に試行しました。

これまで、いくつかの部活動で保護者送迎による合同練習はありましたが、スクールバスを活用した合同練習は今回が初。
来年度も市全体の部活動を盛り上げたいと考えます。



東部校監督と西溪校生徒



バスに乗車する西溪校生徒

問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

今月の論語

故きを温ねて新しきを知る

古いことを研究すると、新しいことがより良くなる。

今月の帰宅放送は、東原庫舎東部校9年 峯 朋果さん(東多久町)です

教育長コラム

ちょっといい話



「虐待」

坊主頭がデコボコになった生徒に、事情を尋ねるが言わない。寡黙で表情の乏しい彼がいつも気がかりだった。家庭訪問した。「転んだ。部活はさせない、居残りさせるな、下の子の面倒がある」と父。無言の母も犠牲者だったかもしれない。周囲に働きかけたが理解を得られなかった。25年前は虐待への理解が乏しかった。私は彼を救えなかった。以降、気づくと児童相談所に通告し保護した。ある子が体に触れると痛がる仕草をするので、服をめぐってもらった針金ハンガーの跡がくつきりと浮かび上がった。身体中にベルトで鞭打たれた跡を発見した時は、本人の許可を受けて撮影し、それを証拠に緊急保護し保護者から隔離した。その子は、ずっと「自分が悪い子だから」と言っていたが、父から鞭打たれた時だけは「痛すぎて途中覚えていない、死ぬと思った」と言った。

教育長 田原 優子

市民文芸

◆師の君の 三重津海軍 讃歌舞ふ
姿凛凛しく 春陽を纏ふ
本村 則子

◆縁側でラジオ聞きつつ 柿をむく
柿の暖簾に陽ざしやわらか
梶原恵美子

◆沈黙を破りたるごとく 水仙の
芽吹ききてきたり 冬陽を浴びて
川浪 信子

◆夫植えし冬の桜の可憐さに
知り初めし頃をしのびておりぬ
福島那智子

◆想像の余白が欲しい 字余りが
許せぬ時代に生きた気がして
野崎 隆幸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《互選》

川柳 《多久市川柳会 互選》

◆おちこちの 石の表や 石露の花
倉成 皓二

◆鉄瓶の 蓋踊り出す 今朝の冬
富樫 明美

◆冬日射す 句座にぎにぎと 終ひけり
おおよはな
中嶋 清子

◆着ぶくれて 身近に辞書と 虫眼鏡
武富 律子

◆短日の 歩き尽くせぬ 寺巡り
武富 律子

◆目標は 世界一周貯金箱
田代まつこ

◆目標は 十年日記とでかく立て
大谷 和

◆ナツメロに 青春かさね恋の歌
高塚チカ子

◆年の差も 苦になく趣味のお友達
古賀ちひろ

◆神風は吹かず モンゴル勢 荒れる
西山 残月